

水痘(みずぼうそう)ワクチン

接種回数・接種量

	接種回数	接種量
任意接種	1 回	0.5 ミリリットル皮下接種

水痘(みずぼうそう)ワクチンについて

- 接種後 1～3 週間頃に、発熱、発疹することがありますが、数日で消失します。
- 水痘の方に接触した場合、48 時間以内に接種すると発症が予防できることもあります。

成人の方、渡航される方へ

- 麻疹、風しんと同様に、アジアなどでは流行がみられ、日本でも流行が起こります。
- 成人になってからかかると重症となることがあります。また妊娠初期にこれらの病気に罹ると胎児に影響が出る危険があります。
- 妊娠を希望される女性と周りの方、妊婦の周りの方、海外に行かれる方は、抗体検査を行い、抗体の低い場合接種をお勧めします。

带状疱疹予防ワクチンとして

50 歳以上の方へ

水痘にかかったことのある方の带状疱疹予防としての効果が認められています。50 歳以上の方は接種可能ですので、接種をお勧めします。

名古屋市在住の方は、50 歳以上の方に带状疱疹予防の助成があります(2020 年 3 月～)。

带状疱疹とは

体の片側の一部にピリピリとした痛みが現れ、その部分に水ぶくれを伴う赤い発疹が出現する病気です。水ぼうそうに罹ると治った後もそのウイルスが体の中に潜んでいて、免疫力が落ちた時に発症します。日本人成人の 90%以上が带状疱疹になる可能性があり、80 歳までに 3 人に 1 人が発症すると言われています。特に 50 歳代から発症しやすくなります。

带状疱疹が頭部、顔面に出ると、目や耳の神経が障害され、めまい、耳鳴りなどの合併症、重症化すると視力低下や顔面神経痛など重い後遺症が残ることがあります。また带状疱疹が治った後も長期に痛みが残ることがあり、**带状疱疹後神経痛(PHN)**と言われています。50 歳以上で带状疱疹になった場合、約 2 割がこの PHN になると言われています。

带状疱疹の予防

带状疱疹を予防するワクチンがあります。

	带状疱疹予防 (乾燥弱毒性水痘ワクチン「ピケン」)	带状疱疹予防 (シングリックス筋注用)
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1 回	2 回(2 カ月後に 2 回目) 遅くとも 6 カ月後までに接種
予防効果	50～60%	90%以上
持続期間	5 年程度	9 年以上
副反応	接種部位の痛み 腫れ、発赤 3 日～1 週間で消失	接種部位の痛み 腫れ、発赤 3 日～1 週間で消失
料金	8,000 円＋税 (2020.3～名古屋市助成利用 自己負担金 4,200 円)	20,000 円＋税/回 (2020.3～名古屋市助成利用 自己負担金 10,800 円/回)

長所	・1 回で済む ・値段が安い	・免疫が低下している方にも接種できる ・予防効果が高い ・持続期間が長い
短所	・免疫が低下している方には接種できない ・持続期間が短い	・痛い ・2 回接種が必要 ・値段が高い